

NEWS RELEASE



Meiji Seika ファルマ株式会社
ソレイジア・ファーマ株式会社

2015年1月19日

末梢性T細胞リンパ腫治療薬「darinaparsin (ダリナパルシン) 注射剤」に関する ライセンス契約締結のお知らせ

Meiji Seika ファルマ株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長:小林大吉郎、以下 Meiji)と、ソレイジア・ファーマ株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:荒井好裕、以下ソレイジア)は、現在ソレイジアが、再発・難治の末梢性 T 細胞リンパ腫(以下、PTCL)を対象疾患として日本・韓国で第 I 相臨床試験を実施している darinaparsin(国際一般名)注射剤(以下、本製剤)について、日本における開発、承認申請、販売に関するライセンス契約を 2015 年 1 月 19 日付で締結しましたのでお知らせします。

ソレイジアは、米国ザイオファーム オンコロジー社(ZIOPHARM Oncology, Inc. (Nasdaq:ZIOP))より darinaparsin の開発・商業化に関する全世界の権利を獲得し、日本をはじめとするアジア諸地域での開発を推進しております。本契約締結により、ソレイジアは再発・難治の PTCL を対象疾患とする本製剤の開発を引き続き担当、アジア国際共同第 II 相臨床試験を本年中に開始し、日本国内で承認申請します。

Meiji は、日本国内における本製剤の販売、流通およびプロモーションを担当します。また、Meiji は、再発・難治の PTCL 以外の適応症を対象疾患として日本国内で本製剤の開発および販売を行う権利を確保するとともに、本製剤の製造に関するオプション権、darinaparsin の本製剤以外の製剤に関する優先交渉権を有することになります。なお、本契約締結に伴い、Meiji はソレイジアに対し、契約一時金、開発進捗や販売に応じた一時金およびロイヤルティを支払うとともに、ソレイジアが当月に実施する第三者割当増資を引き受けません。

darinaparsin は、種々の血液がんおよび固形がんの治療のために開発が進められてきた新規ミトコンドリア標的薬剤(有機ヒ素化合物)です。米国で実施された第 II 相臨床試験において、リンパ腫、特に PTCL に対する有効性が示されました。ソレイジアが実施している日本及び韓国における第 I 相臨床試験においても、有効性と安全性が示されています。

以上

NEWS RELEASE



Meiji Seika ファルマ株式会社について

Meiji は、感染症治療薬・中枢神経系疾患治療薬・ジェネリック医薬品の 3 つの柱を軸に、国際展開力を有する「スペシャリティ&ジェネリック・ファルマ」として、多様な医療ニーズに応じていきます。

詳細については <http://www.meiji-seika-pharma.co.jp/index.html> をご覧ください。

ソレイジア・ファーマ株式会社について

ソレイジアは、日本、中国および他のアジアの諸国において、積極的な臨床開発と独自の事業化戦略により、欧米の革新的ながん領域医薬品を早期に患者に提供することをミッションとして創業いたしました。現在の開発品は以下の通りです。

SP-01(Sancuso®) 適応:抗悪性腫瘍剤投与に伴う悪心・嘔吐	2014 年中国開発完了 申請済
SP-02(darinaparsin) 適応:再発・難治末梢性 T 細胞リンパ腫	2009 年米国前期第 II 相試験完了
	2015 年日本韓国 第 I 相試験完了予定

ソレイジアは伊藤忠商事株式会社及び米国 MPM キャピタルによって 2006 年に設立された会社です。両社のリードのもと、これまで新株発行等により約 50 億円の資金調達を行っており、この資金を開発活動及び新規開発品の導入に積極的に投資し、パイプラインの充足を図っております。

(問い合わせ先)

Meiji Seika ファルマ株式会社:
経営企画部 管理グループ
電話 03-3273-3354

ソレイジア・ファーマ株式会社:
事業開発部
電話 03-6721-8330